

5-2 東海地方における地震活動の変化（1990年5月～1995年5月）
On the Change of Seismic Activity in the Tokai District
(May, 1990-May, 1995)

気象庁地震予知情報課
 Earthquake Prediction Information Division
 Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間のマグニチュード（M）が3.0以上深さ60km以浅の地震活動の変化を示したものである。この図に示したA, B, C3領域の地震活動の主な変化は次のとおりである。

A領域：この領域の北半分では定常的に地震が発生している。南半分の大部分は海域となるが、最近特に目立った変化は見られない。

B領域：本年4月18日に駿河湾北部であった地震（M5.1）のため、北の方で活動が見られる。この地震の深さは24kmであるが、昨年9月末に静岡県東部（富士川付近）でM3.0の地震が起こって以来、深さ20km未満のM3以上の地震は発生しておらず、浅い方では静穏な状態が続いている。1989年7月以来、本年5月までにこの領域で発生した地震の数は64個*1）である。

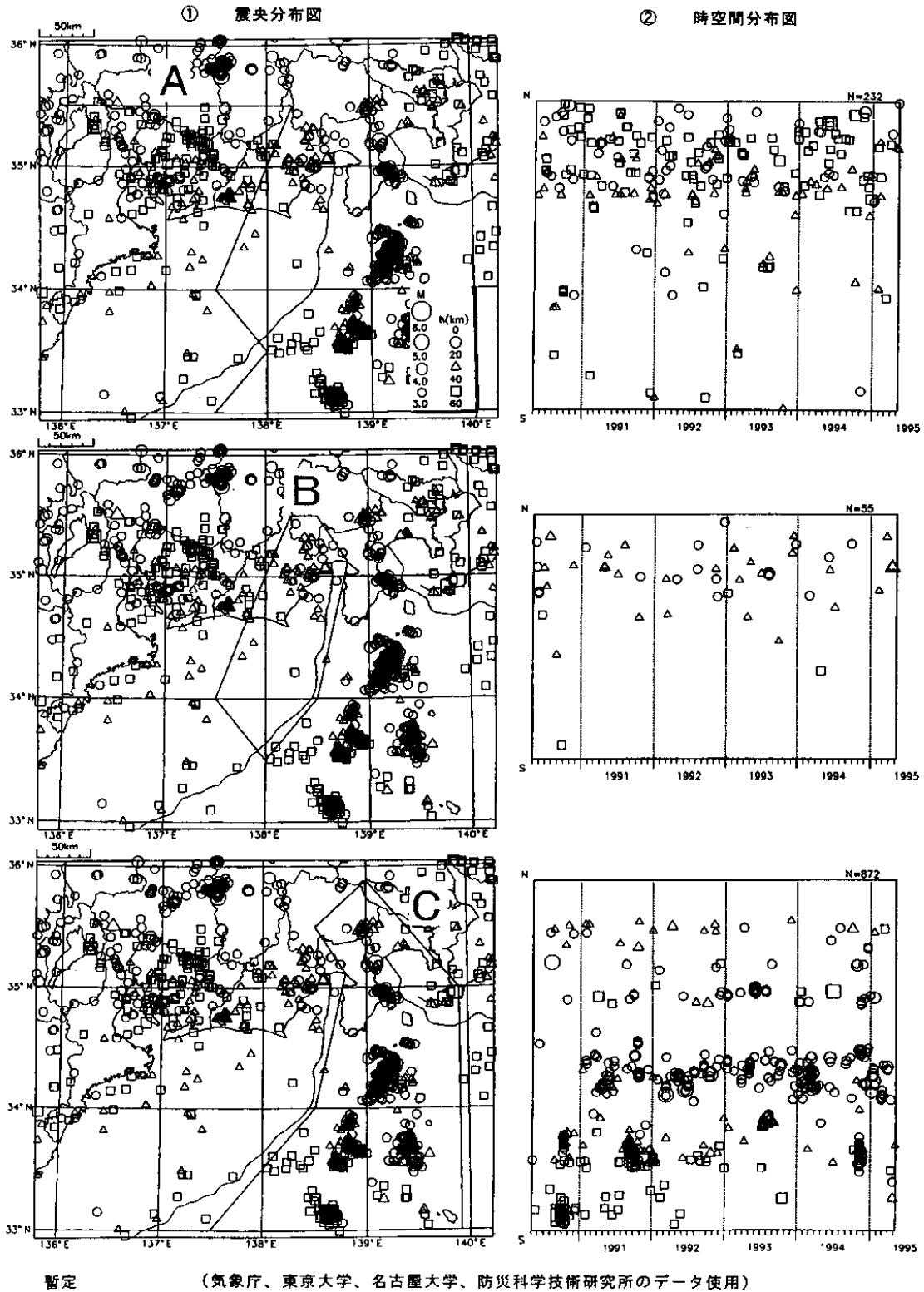
C領域：昨年11月に箱根付近から三宅島南方迄、比較的短期間に広範囲の活動が一斉に起こったが、その後は新島・神津島付近と三宅島の南方に小規模な活動がある程度（本巻別項参照）。

*1) これら64個の地震は次のとおり。 1989年7月から1994年9月までの60地震については、連絡会報第44巻～53巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No.	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
61	1995	02	11	07	26	3.4	33.6		静岡県中部
62		03	21	18	20	3.0	22.2		富士山付近
63		04	18	20	26	5.1	23.5	4	駿河湾北部
64		04	18	20	36	4.4	24.2	2	駿河湾北部

(No.61～64は暫定震源)

東海地方における地震活動の変化 [5年間：1990.5.1-1995.5.9]



第1図 東海地方のA, B, C領域における5年間の地震活動(1990年5月1日~1995年5月9日: M3.0以上, 深さ60km以浅)

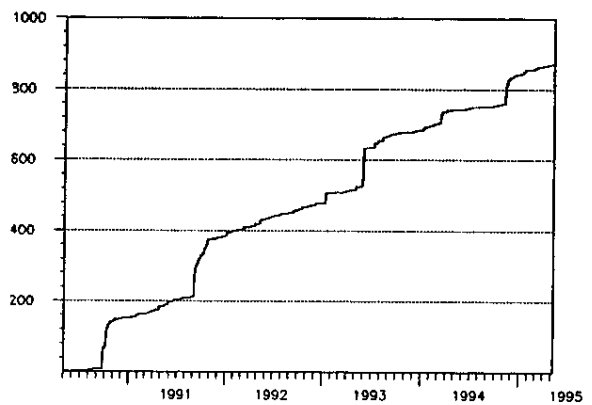
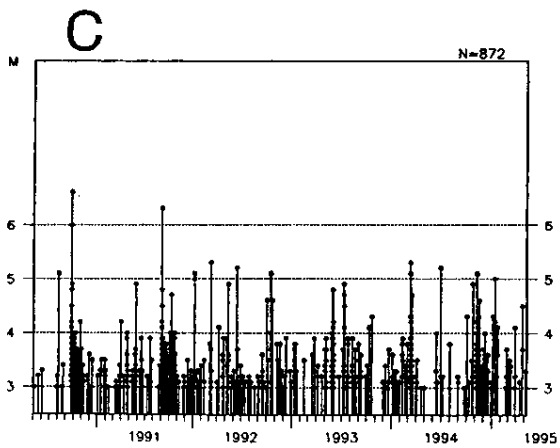
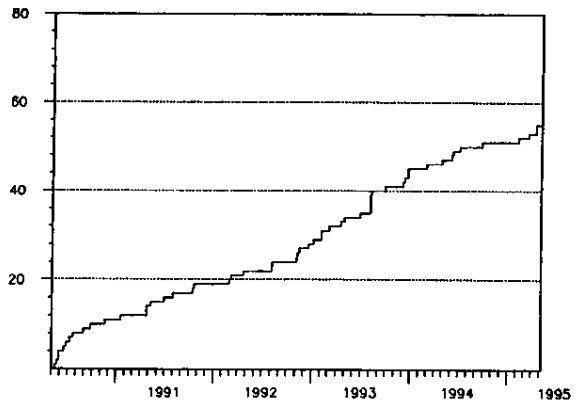
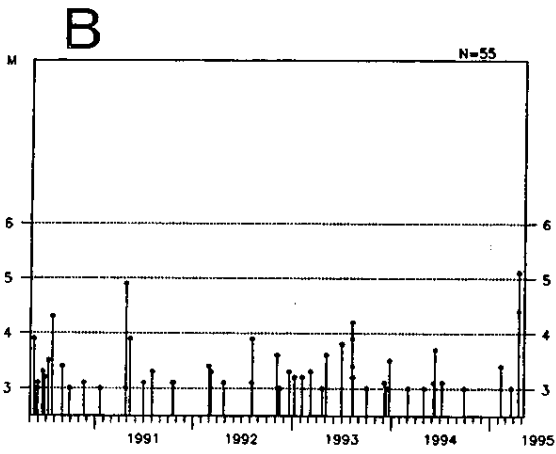
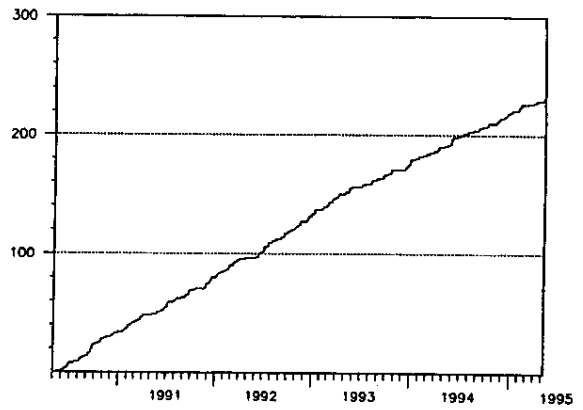
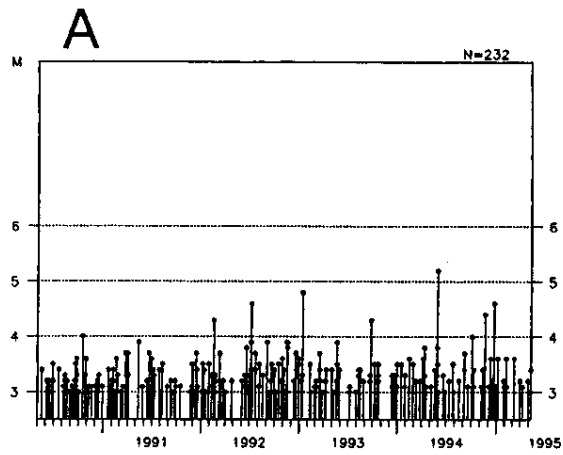
①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図, ④: 地震回数積算図

Fig. 1 Seismic Activity in A, B, C regions in the Tokai District for 5 years (May 1, 1990-May 9, 1995: $M \geq 3.0$, depth ≤ 60 km)

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram, ④: Cumulative number of earthquakes.

③ M-T図

④ 回数積算図



1990.5.1 00:00 -- 1995.5.9 24:00

第1図 つづき
Fig.1 (Continued)